

見どころ

旭岳（姿見の池）



姿見の池は、かつての噴火口に、雪解け水や雨水が溜まってできた池で、ロープウェイ姿見駅から歩いて20～30分ほどの場所にあります。周囲には散策路があり、北海道の屋根と呼ばれる大雪山連峰の中でも、気軽に楽しむことのできるスポットです。

残雪や紅葉など、四季折々の旭岳の姿を湖面に映し出し、特にお天気が良く風もない日は、青空とともに噴煙を上げる旭岳の雄大な姿が映り込み、絶景を楽しむことができます。

6月の下旬から7月中旬くらいまでは、チングルマやエゾノツガクラなどの高山植物の花々がみられ、9月には、道内で最も早く紅葉を楽しむことができます。

また、ふもとの道立勇駒別高山植物園では気軽に花々が見られます。

森林に囲まれたかなやま湖は、ダムによって出来た湖です。周囲には展望台や散策路、保養センター、オートキャンプ場などが整備され、宿泊を伴う利用も可能です。道有林は施設飲料水の供給源となっています。標高738mの「ゼロの山」は、かなやま湖が一望できることもあり、愛好家による登山も行われています。付近人工林の造成は管内でも早い流域で、トウヒの植栽が多く良好な成長をしています。

かなやま湖



その他の見どころ



愛山溪温泉

上川町にある温泉で大雪山の沼ノ平や永山岳、愛別岳などに近く、登山口の一つとして親しまれています。なお冬期間は道道の閉鎖のため休止となります。



黎明の松

当麻町にあるイチイの巨木で幹周りは370cm、樹高は17m40cm、直径は約118cm。樹齢は千年と推定されています。



石垣山

標高約525m。愛別発電所の脇から、登山道が伸びており、頂上付近では、柱状節理の岩肌で、ロッククライミングを楽しむ人もいます。

木育行事

行事名	時期	場所	内容
木に親しむ木育の集い	9月上旬	旭川市内	木工クラフトやブチ林業体験など
「森林の市」出展「木育ひろば」	7月下旬	旭川林業会館構内	木工クラフト作成体験など
早春の森林かんじきツアー	2月下旬	旭川市21世紀の森	かんじき等を付けての雪山の散策

お問い合わせは 上川総合振興局南部森林室（電話：0166-46-5998）まで



仁宇布原生林（美深町）

管理区面積ランキング		
順位	管理区	面積(ha)
第1位	上川北部	81,559
第2位	空知	68,444
第3位	網走西部	66,269
第4位	十勝	64,972
第5位	日高	48,390
第6位	渡島西部	47,801
第7位	後志	42,668
第8位	網走東部	41,860
第9位	上川南部	36,871
第10位	渡島東部	36,011
第11位	胆振	33,344
第12位	留萌	25,475
第13位	釧路	14,362

08 上川北部管理区

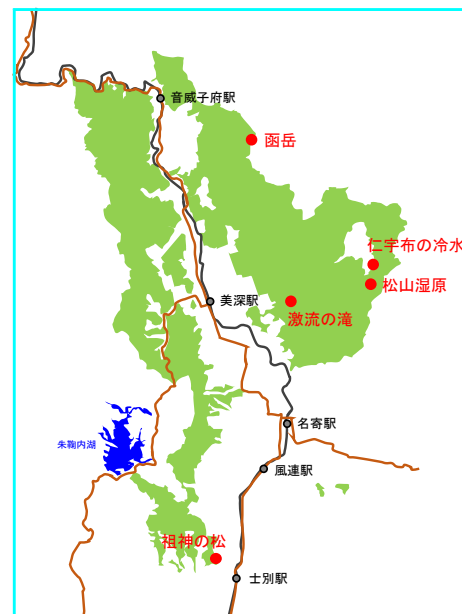
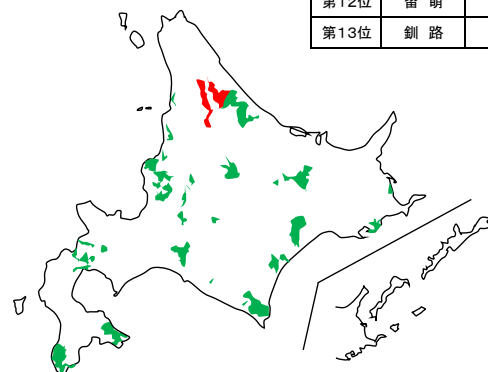
上川北部管理区は、全道の管理区の中では最北端に位置しており、士別市、名寄市、美深町、音威子府村、中川町の5市町村にあり、総面積は約8万2千haとなっています。

当管理区の中央を流れる天塩川は、農業用水や生活用水などに利用されており、水量を調節して川の氾濫や渇水を防ぐなど、森林の水源かん養機能に対する地域住民の期待が大きい地域です。

森林の種類別面積（割合）は、天然林が約6万ha（74%）、人工林が約1万9千ha（24%）、未立木地などが約2千ha（2%）となっています。また、総蓄積は、約1千万m³で、針葉樹が約480万m³（48%）、広葉樹が約520万m³（52%）となっています。

天然林は、トドマツやエゾマツ等の針葉樹が蓄積比で25%、ミズナラやシナノキ類、ダケカンバ等の広葉樹が75%と、広葉樹の割合が高くなっています。

人工林の樹種別面積（割合）は、トドマツが約1万2千ha（64%）、カラマツ類が約1千5百ha（8%）、エゾマツ類が約5千ha（27%）、広葉樹・その他が約2百ha（1%）となっています。



見どころ

松山湿原



松山湿原は美深町市街より東方約29km、北見山地ピヤシリ山系の海拔高797mに位置し、湿原面積は約25haです。

北に位置する高地性の高層湿原の一つで、矮性化したアカエゾマツ（通称ニウブ松）やハイマツが分布するなどの特異性があり、学術上の価値が高く、優れた自然環境であることから、昭和51年に北海道自然環境保全地域（松山ピヤシリ道立自然環境保全地域）に、また、昭和54年には保健保安林に指定されています。

湿原にはアカエゾマツ、ハイマツだけでなく、ゴゼンタチバナ、ワタスゲなどの高山植物、湿原植物が生育し、四季折々様々な表情を見せてくれます。また、湿原の麓では、環境省の「平成の名水百選」にも選定された「仁宇布の冷水」も堪能できます。

美深町、宗谷管内枝幸町歌登、音威子府村との境界に位置する標高1,129mの函岳は、北見山地の主峰となる山で「北海道の百名山」（北海道新聞社）に数えられています。

晴天の山頂からは利尻富士、オホーツク海、大雪連峰などの360度大パノラマを眺望することができ、平成2年に、北海道自然環境保全指針により、「すぐれた自然地域」として将来的に保全を図っていくことが望ましい地域として位置付けられました。

函岳はアイヌ語で「ベベケナイ・エトコ」と言い、ベベケナイ川の行き着く先（水源）の意味です。山頂に宝箱を積み重ねたような岩があるので「シュポベルシケ」と言い、「千両箱を積み上げている者」という景気の良い名前も持っています。

函岳



その他の見どころ



激流の滝

道道美深雄武線沿いペンケニウブ川支流七線沢の林道を1.3km進みます。巨岩の隙間を縫うように水が流れ、激しく流れ落ちる様は、まさに激流の滝。



祖神の松

士別市西士別町学田にある推定樹齢千年を超すイチイの巨木。市指定文化財であり、平成28年市教委が威容を後世に引き継ぐためクローン苗を移植しました。



仁宇布の冷水

道道美深雄武線松山湿原入り口ゲートから約3kmにあり、真夏でも水温6度と冷たく、ミネラルも豊富。平成20年環境省の「平成の名水百選」に認定されました。

木育行事

行事名	時期	場所	内容
名美の滝めぐりツアー	8月上旬	上川北部森林室内	名寄、美深地区の滝をめぐるツアー
林業体験学習	10月下旬	伐採現場ほか	美深小・中・高生を対象とした森林環境学習

お問い合わせは 上川総合振興局北部森林室（電話：01656-2-1726）まで



高齢級トドマツ人工林（増毛町）

管理区面積ランキング		
順位	管理区	面積(ha)
第1位	上川北部	81,559
第2位	空知	68,444
第3位	網走西部	66,269
第4位	十勝	64,972
第5位	日高	48,390
第6位	渡島西部	47,801
第7位	後志	42,668
第8位	網走東部	41,860
第9位	上川南部	36,871
第10位	渡島東部	36,011
第11位	胆振	33,344
第12位	留萌	25,475
第13位	釧路	14,362

09 留萌管理区

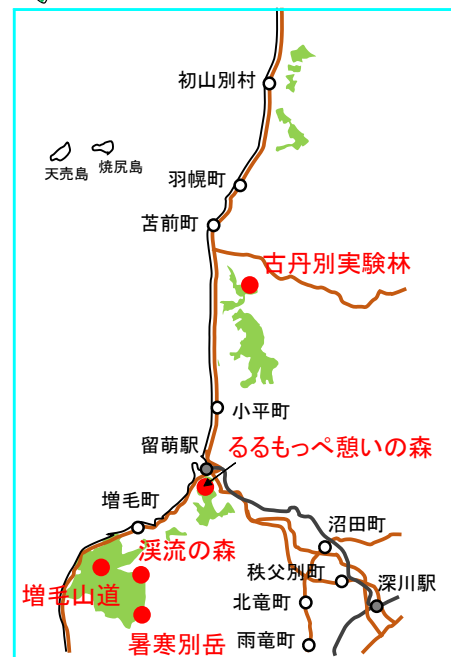
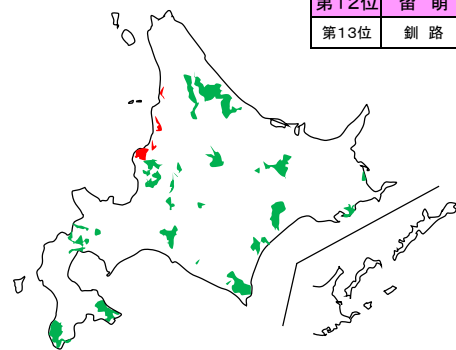
留萌管理区は、西側の一部が日本海に面した南北に長い区域で、増毛町、留萌市、小平町、苫前町、初山別村の5市町村にあり、総面積は約2万5千haとなっています。

当管理区の森林は、ほぼ全域が保安林に指定され、増毛町にある森林は暑寒別天売焼尻国定公園に指定されるなど、水源のかん養や国土の保全、保健・文化など森林の公益的機能の発揮が期待されています。

森林の種類別面積（割合）は、天然林が約2万ha（79%）、人工林が約4千ha（15%）、未立木地などが約2千ha（6%）となっています。また、総蓄積は約247万m³で、針葉樹が109万m³（44%）、広葉樹が138万m³（56%）となっています。

天然林は、トドマツ等の針葉樹が蓄積比で26%、ナラやシナ、ダケカバ、イタヤ等の広葉樹が蓄積比で74%と、広葉樹の割合が高くなっています。

人工林の樹種別面積（割合）は、トドマツが約3千2百ha（86%）、カラマツ類が約2百ha（4%）、エゾマツ類が約3百ha（9%）、広葉樹・その他が約0.3百ha（1%）となっています。



見どころ

増毛山道



増毛山道は、北海道がまだ蝦夷地と呼ばれていた160年前の幕末、当時、増毛の漁場を請け負っていた商人、伊達林右衛門が雄冬の断崖を迂回する道の開削という箱館奉行所からの命を受けて開削した、現在の増毛町別荘と石狩市浜益区幌を結ぶ道です。

この山道は昭和10年代後半から次第に使われなくなり、徐々に笹藪に埋もれていきましたが、「増毛山道の会」などの熱意により10年の月日を経た平成28年10月、幻と言われた山道が蘇りました。

近年は、歴史的価値や豊かな自然を満喫する体験トレッキングが定期的に行われ、道内各地から山道愛好家が訪れ、リピーターも多いなど、貴重な観光資源としての価値も高まっています。

暑寒別岳



暑寒別岳は、群別岳（1,376メートル）・南暑寒岳（1,296メートル）・雄冬岳（1,198メートル）などの暑寒別岳連峰の主峰で、標高は1,492メートルです。

増毛側から望む暑寒別岳は、初夏まで残雪があり、山麓に広大な原始林を従え、晴れた日には山頂から天売・焼尻島をはじめ、大雪山、羊蹄山、利尻山などを一望することができ、多くの登山者を魅了しています。特に、6月中旬から7月には、山頂一帯にお花畑が広がり、マシケゲンゲ、マシケオトギリなど固有種も見られ、花の名山としても人気です。

増毛町側からの暑寒別岳への登山ルートは、暑寒ルート・箸別ルートの2カ所あります。

その他の見どころ



るるもっぺ憩いの森

日本海が一望できる森林レクリエーションの場として留萌市内に開設され、身近に自然にふれあえる森として、地域の方々から親しまれています。



溪流の森

暑寒別岳の登山口（暑寒ルート）に広がり、四季折々の草花とともに変化する森の姿を楽しみながら散策やキャンプなどを楽しむことができます。



古丹別実験林

トドマツや多様な広葉樹が混交する天然林で、林内は大径木のほか、後継樹となる若木も多いなど、自然の森を体感でき、一般の方でも気軽に散策を楽しむことができます。

木育行事

行事名	時期	場所	内容
よりみちの駅フェスタ	10月中～下旬	留萌振興局	木のおもちゃ、木工作、木の実試食体験
よりみちの駅クリスマス	12月中旬	留萌振興局	ミニツリーづくり、オーナメントづくり、リースづくり
住民参加型クリスマスツリーづくり	12月上～下旬	留萌振興局	ミニツリーづくり、オーナメントづくり

お問い合わせは 留萌振興局森林室（電話：0164-42-8380）まで



紅葉の美しいチミケップ湖の風景（津別町）

管理区面積ランキング

順位	管理区	面積(ha)
第1位	上川北部	81,559
第2位	空知	68,444
第3位	網走西部	66,269
第4位	十勝	64,972
第5位	日高	48,390
第6位	渡島西部	47,801
第7位	後志	42,668
第8位	網走東部	41,860
第9位	上川南部	36,871
第10位	渡島東部	36,011
第11位	胆振	33,344
第12位	留萌	25,475
第13位	釧路	14,362

10 網走東部管理区

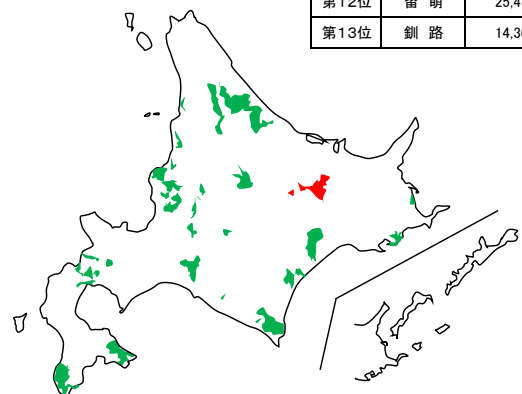
網走東部管理区は、オホーツク地域の中心部に流れる網走川と常呂川の両河川に挟まれた丘陵地帯に位置しており、北見市、置戸町、訓子府町、美幌町、津別町の5市町にあり、総面積は約4万2千haとなっています。

当管理区は、オホーツク海沿岸部では、漁業、内陸部では農業が営まれ、また、豊かな森林資源を背景にして、林業・木材産業が盛んなことから、生活環境や地域産業を支えるとともに、木材供給の場としての役割を担っています。

森林の種類別面積（割合）は、天然林が約2万7千ha（64%）、人工林が約1万5千ha（36%）となっています。また、総蓄積は約1,133万m³で、針葉樹が約836万m³（74%）、広葉樹が約297万m³（26%）と針葉樹の割合が高くなっています。

天然林は、トドマツやエゾマツ等の針葉樹が蓄積比で62%、ナラやシナ、イタヤ等の広葉樹が38%となっています。

人工林の樹種別面積（割合）は、トドマツが約7千3百ha（49%）、カラマツ類が4千5百ha（30%）、エゾマツ類が約3千2百ha（21%）となっています。



見どころ

チミケップ湖



チミケップ湖は、津別町市街から南西約14kmに位置する、面積約1km²の自然にできた淡水の堰止め湖です。

湖にはヒメマスやウグイが生息し、周辺は苔むした大地にトドマツやミズナラがひっそりと佇み、遊歩道には、時折、クマゲラやエゾシマリスが訪れます。

平成26年には、野鳥・見晴台・樹木園・西湖畔の各遊歩道が森林セラピーロード「チミケップ・ネイチャートレイル」として認定されました。

春はニリンソウやクリンソウの花々、夏はアウトドアスポーツ、秋は紅葉、冬は雪景色と四季折々の表情で迎えてくれる憩いの場です。

風穴ゾーンは置戸町市街から南西へ約16km、トドマツやアカエゾマツを主体とした針広混交林が広がる春日地区に位置しています。

春日地区には、昭和27年の暴風と昭和29年の洞爺丸台風を生き延びたアカエゾマツ原生林があり、昭和50年には「ナキウサギ生息アカエゾマツ保護林」、平成17年には「置戸勝山学術自然保護地区」に指定されています。

風穴ゾーンでは、アカエゾマツの巨木と苔類が絨毯のように敷き詰められた幻想的な風景が見られ、ガレ場で静かに待っていればエゾナキウサギの鳴き声が聞こえるかもしれません。

風穴ゾーン



その他の見どころ



最上のミズナラ

津別町最上にある推定樹齢1200年、胸高直径1.9mのミズナラで、「木のつべつのご神木」とも言うべき巨木です。



置戸照査法試験林

スイスの森林官であったアンリ・ビヨレイによる恒続的に最高の生産力を発揮する施業方法を実証するため、置戸町に昭和30年に設定され現在まで継続調査している天然林です。



鹿鳴の滝

チミケップ湖の南側、チミケップ川にある7段の滝。道道に滝の案内看板があり、道道から、あるいは遊歩道を降りて滝を見ることができます。

木育行事

行事名	時期	場所	内容
斜里町民植樹祭	6月上旬	斜里町字峰浜	植樹活動
緑の教室「子供樹木博士に挑戦」	6月中旬	北見市内	樹木名を葉等の特徴で覚える小学校体験授業
地域住民と創る道有林のつどい	9月下旬	管内道有林	植樹・間伐等の施業現場見学及び意見交換
クリスマスフェス	12月上旬	ネイバル北見	クリスマスオリジナルコースター作成

お問い合わせは オホーツク総合振興局東部森林室（電話：0157-24-6276）まで



ウダイカンバを主体とした山火再生林（興部町）

管理区面積ランキング

順位	管理区	面積(ha)
第1位	上川北部	81,559
第2位	空知	68,444
第3位	網走西部	66,269
第4位	十勝	64,972
第5位	日高	48,390
第6位	渡島西部	47,801
第7位	後志	42,668
第8位	網走東部	41,860
第9位	上川南部	36,871
第10位	渡島東部	36,011
第11位	胆振	33,344
第12位	留萌	25,475
第13位	釧路	14,362

11 網走西部管理区

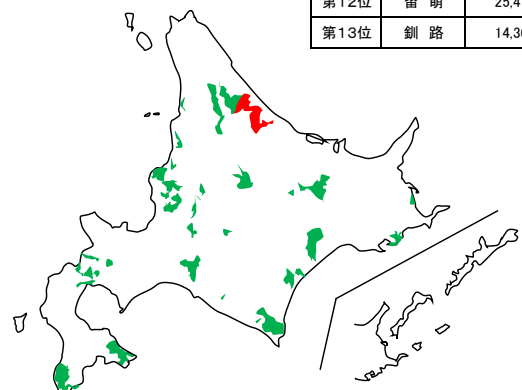
網走西部管理区は、オホーツク海に面した山岳・丘陵地帯に位置し、興部町、西興部村、雄武町の3町村にあり、総面積は約6万6千haとなっています。

当管理区の森林は、地域と連携して全域が森林認証（SGEC）を取得しており、環境に配慮した森林施業を実践するとともに、森林認証材を活用した地域づくりを推進しています。

森林の種類別面積（割合）は、天然林が約4万8千ha（72%）、人工林が約1万5千ha（23%）、未立木地などが約3千ha（5%）となっています。また、総蓄積は約979万m³で、針葉樹が約517万m³（53%）、広葉樹が約462万m³（47%）となっています。

天然林は、トドマツやエゾマツ、アカエゾマツ等の針葉樹が蓄積比で35%、カンバ類やシナ、ミズナラ、イタヤ等の広葉樹が蓄積比で65%と、広葉樹の割合が高くなっています。

人工林の樹種別面積（割合）は、トドマツが約1万2千ha（81%）、エゾマツ類が約2千ha（15%）、カラマツ類が約1千ha（4%）となっています。



見どころ

ピヤシリ湿原



ピヤシリ湿原は、オホーツク海に面した紋別郡雄武（おうむ）町を南北に貫く幌内川上流の標高920mの山上に展開する山地性の湿原で、周囲は880m、面積はおよそ3.8haを有し、全域が北海道指定の自然環境保全地域になっています。

湿原にはツルコケモモやモウセンゴケ等の群落があり、特に湿原の中にある「ブレンケ」または「池塘（ちとう）」と呼ばれる小さな湖沼が3つあり、その周辺にはハイマツ等の群落にアカエゾマツが混生し、このアカエゾマツなどの林床に咲く植物の群落は、絨毯を敷きつめたかのように広がり、広やかな展望とともに素晴らしい景観を見せてくれます。

行者の滝・赤岩の滝・黒岩の滝は、西興部村市街から天北峠に向かって17kmほど行った国道239号線沿いに、行者の滝の大きな看板を曲がり、北に向かうと順に「行者の滝」と「赤岩の滝」と「黒岩の滝」があります。

行者の滝は、明治末期に親の病氣回復を願って滝に打たれ祈願した女行者が実在したことから、行者の滝と呼ばれるようになりました。

行者の滝より奥へ進むと、川床の岩がレンガ色のような赤い色をしている「赤岩の滝」があり、さらに奥へ進むと岩盤が黒い色をしている「黒岩の滝」があります。それぞれ興部川源流にあるため水量も豊富で、周囲の岩盤の色と相まって豪快で迫力に満ちています。

行者の滝ほか



その他の見どころ



パンケの滝

興部町の興部川支流の班溪川上流に位置する滝で、約10mの高さがあります。滝の周囲は城壁をめぐらしたかのような岩盤に囲まれ、見るものを圧倒します。



峠のトドマツ人工林

雄武町から道道美深雄武線を美深町方面に走ると「峠のトドマツ人工林」があり、面積は約700haにも及び、一部は「悠久の森」としてクマガラなどの野鳥観察が楽しめます。



イナシベツの滝

雄武町の雄武川支流イナシベツ沢上流に位置する滝で、高さは約10mあります。水量は多く、ほぼ垂直に切り立った岩肌を流れ落ちるその姿は、豪快で迫力に満ちています。

木育行事

行事名	時期	場所	内容
木育の森植樹祭	6月中旬	管内道有林	雄武町と西興部村の木育の森で交互に植樹活動
登山ツアー	6月下旬	管内道有林	ピヤシリ湿原とウエンシリ岳登山を相互に実施
木育教室	10～12月	管内小学校等	小学校を対象としたネイチャークラフト等

お問い合わせは オホーツク総合振興局西部森林室（電話：0158-82-2158）まで



有用広葉樹が残る天然林（浦幌町）

管理区面積ランキング		
順位	管理区	面積(ha)
第1位	上川北部	81,559
第2位	空知	68,444
第3位	網走西部	66,269
第4位	十勝	64,972
第5位	日高	48,390
第6位	渡島西部	47,801
第7位	後志	42,668
第8位	網走東部	41,860
第9位	上川南部	36,871
第10位	渡島東部	36,011
第11位	胆振	33,344
第12位	留萌	25,475
第13位	釧路	14,362

12 十勝管理区

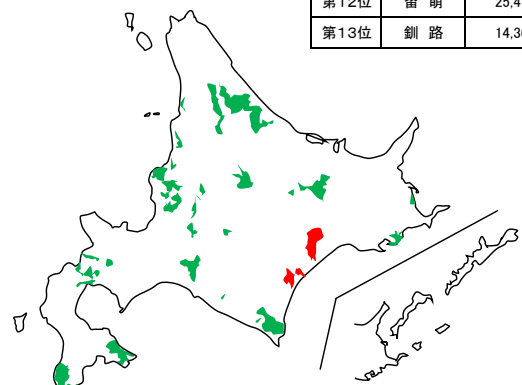
十勝管理区は、十勝管内から釧路管内にまたがって位置し、大樹町、幕別町、豊頃町、浦幌町、釧路市、白糠町の6市町にあり、総面積は約6万5千haとなっています。

当管理区の森林を水源とする河川は、農業や生活用水に利用されているほか、豊富なミネラルを沿岸部に運ぶことにより水産資源や河口部に点在する湿地・湖沼の保全に寄与するなど、地域の産業や環境保全にとって重要な役割を担っています。

森林の種類別面積（割合）は、天然林が約5万ha（77%）、人工林が約1万4千ha（22%）、未立木地などが約1千ha（1%）となっています。また、総蓄積は約1,421万m³で、針葉樹が約926万m³（65%）、広葉樹が約495万m³（35%）となっています。

天然林は、トドマツやエゾマツ、アカエゾマツ等の針葉樹が蓄積比で44%、ナラやシナ、ダケカンバ、ハリギリ等の広葉樹が56%と、広葉樹の割合が高くなっています。

人工林の樹種別面積（割合）は、トドマツが約9千8百ha（68%）、カラマツ類が約3千5百ha（24%）、エゾマツ類が約8百ha（5%）、広葉樹・その他が約4百ha（3%）となっています。



見どころ

炭山「みらいの森」



炭山「みらいの森」は、浦幌市街より道道音別浦幌線を約20km進んだ、常室川沿いにあり、河原や河岸では貝類などの化石や石炭の露頭が観察できます。

明治24年に炭鉱が発見され、大正7年に十勝唯一の炭鉱として開発され、最盛期には人口3,600人以上の一大市街地を形成した「旧浦幌炭鉱」関連施設などの数多くの遺構も見られます。

留真「散策の森」は、浦幌市街から約18kmの距離にある秘湯「うらほろ留真温泉」のすぐ裏山にあり、北海道の巨樹・巨木に指定されているカツラ（樹齢200年以上、幹周り830cm、樹高24m）を見ることができる貴重な森林です。

また、遊歩道を散策すると、カツラやミズナラの巨木に遭遇することができます。

留真「散策の森」



その他の見どころ



富川「太古の森」

浦幌町富川にある広葉樹原生保護林で、ほぼ原生に近い天然林の姿を留めた貴重な森林です。（※隣接する私有林の通行に了解が必要です。）



背負「久保の森」

豊頃町背負にあり、昭和61年に道有林緑化推進特別事業により、森林の役割を学ぶ森林学習、体験学習の場として整備し、見本林などがあります。



最後のアンモナイト

浦幌町茂川流布川で平成24年8月9日にアンモナイトの化石（通常とは違い、螺旋状になっていない）が発見されました。

木育行事

行事名	時期	場所	内容
「山の日」記念夏休み木工工作教室	8月上旬	十勝森林室庁舎	浦幌町内の小学生を対象とした木工工作
オーラポロひろば「木育教室」	9月上旬	浦幌町炭山	浦幌町内の小学生を対象とした枝打ち体験、森林散策
える夢キッズクラブ森林体験学習	10月下旬	豊頃町背負	豊頃町内の小学生を対象とした枝打ち体験、森林散策

お問い合わせは 十勝総合振興局森林室（電話：015-576-2165）まで



トドマツを主体とした天然林（厚岸町）

管理区面積ランキング		
順位	管理区	面積(ha)
第1位	上川北部	81,559
第2位	空知	68,444
第3位	網走西部	66,269
第4位	十勝	64,972
第5位	日高	48,390
第6位	渡島西部	47,801
第7位	後志	42,668
第8位	網走東部	41,860
第9位	上川南部	36,871
第10位	渡島東部	36,011
第11位	胆振	33,344
第12位	留萌	25,475
第13位	釧路	14,362

13 釧路管理区

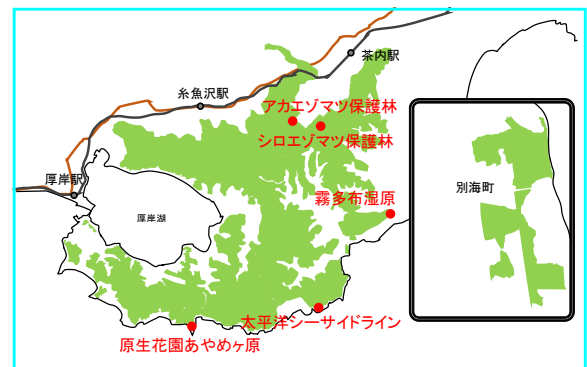
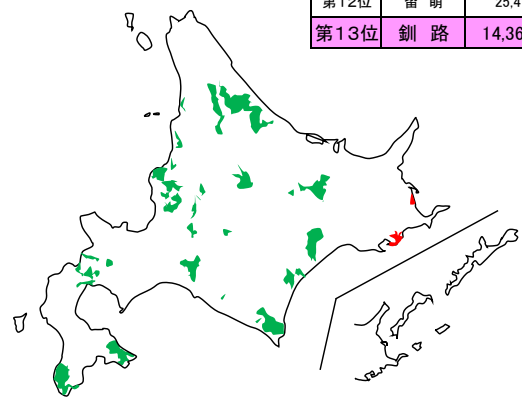
釧路管理区は、全道の管理区の中では最も東に位置し、厚岸町、浜中町、別海町の3町にあり、総面積は約1万4千haとなっています。

当管理区の森林は、ラムサール条約登録湿地である厚岸湖や霧多布湿原の上流にあり、地域の基幹産業である漁業や酪農が盛んであるため、森林に対する関心が高く、特に厚岸湖ではカキやアサリなどの養殖が行われていることから、河川の水質保全や土壌の流出保全機能の発揮が期待されています。

森林の種類別面積（割合）は、天然林が約9千7百ha（68%）、人工林が約4千6百ha（32%）となっています。また、総蓄積は約263万m³で、針葉樹が169万m³（64%）、広葉樹が94万m³（36%）となっています。

天然林は、トドマツやエゾマツ等の針葉樹が蓄積比で46%、ハルニレやシナ、ミズナラ、アオダモ、ダケカンバ等の広葉樹が54%となっています。

人工林の樹種別面積（割合）は、トドマツが約3千4百ha（75%）、カラマツ類が約3百ha（7%）、アカエゾマツが約8百ha（17%）、広葉樹・その他が約0.3百ha（1%）となっています。



見どころ

厚岸湖・霧多布湿原



釧路管理区は、1993年にラムサール条約登録湿地として指定された厚岸湖・霧多布湿原に囲まれるように位置しています。

厚岸湖は汽水湖で、湖畔の塩湿地にはアッケシソウなど塩性植物群落が生息するほか、日本有数のオオハクチョウの越冬地となっています。また、周辺の道有林ではオオワシ、オジロワシが越冬します。

霧多布湿原は、湿地を守る運動として日本で初めてトラスト運動が導入され、現在まで約960ヘクタールが対象となっています。湿原中央部にある泥炭形成植物群落は天然記念物にも指定され、ワタスゲ、ヒオウギアヤメなどが湿原を彩り、タンチョウの重要な生息地でもあります。

厚岸湾に突き出たアイカップ岬から霧多布・琵琶瀬湾へと続く太平洋沿岸は、標高100mほどの根釧台地から一気に海へと落ちる急峻な海食地形を呈しており、断崖と点在する奇岩は絶景となっています。

5～8月にかけては霧が発生する日も多く、防霧保安林である道有林を通る海岸沿いの道路では、森林による防霧効果を実感することができます。

また、絶滅危惧種に指定されているエトピリカは、この地域を代表する希少な鳥の一つで、浜中町の町鳥にもなっています。

太平洋シーサイドライン



その他の見どころ



シロエゾマツ保護林

北海道大学の館脇操教授によりエゾマツの変種として鑑定され、学術研究に資することを目的に保護林として設定。群生する森林として道内唯一であり、貴重な存在となっています。



アカエゾマツ保護林

管理区の天然林は、主にトドマツや広葉樹で構成されており、アカエゾマツは単木的に見られる程度ですが、当保護林は純林を形成する珍しい場所となっています。



あやめヶ原

太平洋シーサイドライン「岬と花の霧街道」の景勝地の一つで、30万株以上のヒオウギアヤメをはじめ100種類以上の植物を觀賞でき、花の時期は多くの人が訪れます。

木育行事

行事名	時期	場所	内容
森林観察会	10月上旬	厚岸・浜中道有林	間伐等の森林施業現場や巨木の見学

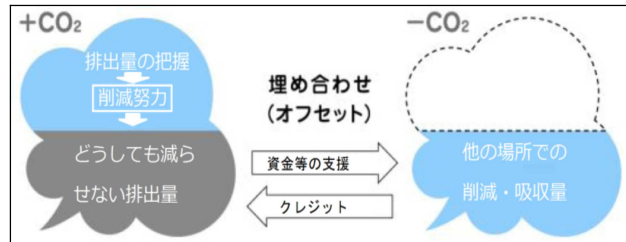
お問い合わせは 釧路総合振興局森林室（電話：0153-52-2165）まで

トピックス

カーボン・オフセットの取組

【カーボン・オフセットとは】

カーボン・オフセットとは、自らの活動で排出したCO₂などの温室効果ガス排出量のうち、削減が困難な部分について他の場所で行った排出削減や吸収活動等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせることであります。



出所:「環境省カーボンオフセット活用ガイドブック2015」から引用

【道有林のカーボン・オフセット】

道有林では、森林整備への理解の促進を図るため、羊蹄山と旭岳を望む人工林の森林整備により吸収したCO₂について、オフセット・クレジット（J-VER）の認証を受け、カーボン・オフセットによる環境活動に取り組む企業や団体等の皆様にクレジットを販売しています。

（原則、J-VERを販売する市町と同時販売）

Two photographs of mountains: 羊蹄山 (Mount Ramotani) on the left and 旭岳 (Mount Asahi) on the right.

- ・プロジェクト名:「キキタの森」の間伐促進プロジェクト
- ・認証クレジット: 4,362t-CO₂
- ・認証年月日: 平成24年3月26日

★主な活用事例

○ (株)ジェシービーは、道有林の第1号として取り組まれて以降、営業活動によるCO₂排出量の一部のオフセットを毎年実施（H24～）。



証明書（第1号）



証明書贈呈式

○ コープさっぽろとサッポロビール(株)は、「北海道の森を元気にしよう!」共同キャンペーンを実施（H25～）。



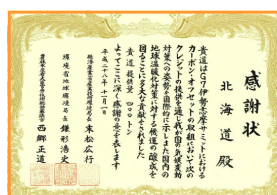
キャンペーン



共同記者発表

※ H26年は、第4回カーボンオフセット大賞「環境大臣賞受賞」を受賞。

○ 平成28年5月の「G7伊勢志摩サミット」の開催に伴って排出するCO₂をカーボン・オフセットする取組に400t-CO₂を提供。



感謝状



感謝状（web版）